

介護支援専門員実務研修 14日目

第17章 研修全体を振り返っての 意見交換、講評及び ネットワーク作り

1

P417

本科目の目的と修得目標

目的

無断複写・転載を禁ずる

研修全体を通じた振り返りを行うことで、今後の学習課題を認識し、自己研鑽の意欲を高める。また、研修受講者間でのネットワークの構築を図る。

P419

修得目標

- ①受講を通しての自らの今後の学習課題・目標の設定を実施できる。
- ②研修を通じ、自分の活動意欲の向上を実施できる。
- ③学習課題を基にケアマネジメントプロセスを実施できる。
- ④自己の介護支援専門員としての活動の準備を実施できる。
- ⑤受講者間のネットワークの構築を実施できる。

2

1 今後の学習課題・目標の設定等について

【個人ワーク】

(420頁)

(1) 研修に関する記録シートの再確認と個人ワーク(演習①)

1 今後の学習課題・目標の設定等について

(2) グループ内意見交換と発表(演習②)

【グループワーク】(421頁)

(1) 役割分担の決定

○三役(司会者、記録発表者)

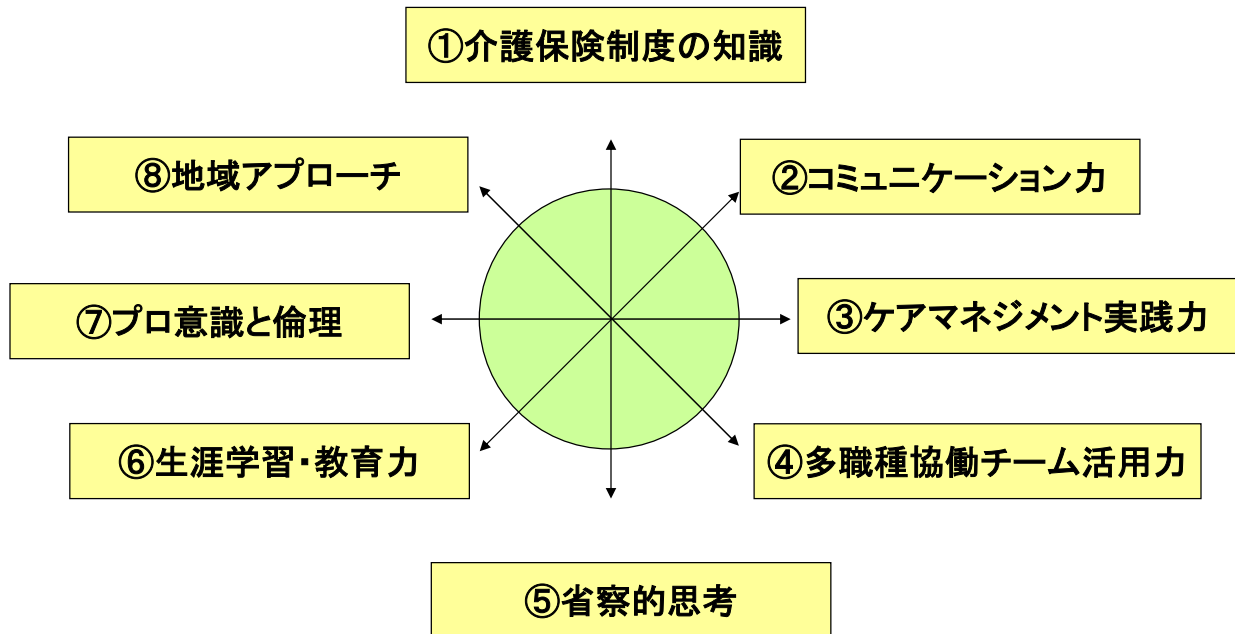
(2) プレゼンテーション

○司会者の進行により、個人ワークで整理した各項目の具体的な内容を発表し、グループ内で意見交換をしてください。

○他の受講者の発表を参考に、自分が設定した学習課題・目標を再整理してください。

(3) 各グループの発表

2 介護支援専門員研修のアウトカム



1 ネットワークの必要性

介護支援専門員同士が承認しあい、相談できるネットワークの存在

2 受講者間のネットワークの構築

(1) 受講者間のネットワークの構築方法の検討

【グループワーク】

○ファシリテーターが司会をして、記録者、発表者を決めてください。

○司会者の進行により、①ネットワークに期待する機能、②ネットワークの構築方法、③ネットワーク維持の仕組みについて、グループ内で討議して意見をまとめてください。

2 受講者間のネットワークの構築

(2) 受講者間のネットワークの構築方法の合意形成

1) 全体討議の司会者選出

2 受講者間のネットワークの構築

(2) 受講者間のネットワークの構築方法の合意形成

2) 各グループの意見の発表と全体討議

ネットワークの必要性(課題)

- 個人での自己研さんや、スキルの向上には限界がある。
- 職場環境等により実践の場での経験に差が生じやすく経験数も限られる。
- 悩みや課題を抱え込んだり、自信が持てないとき孤立してしまう。
- 自身のケアマネジメントを振り返る機会など個人の研鑽機会に委ねられてしまう。

ネットワーク構築の目的

- 業務に対するアドバイスや客観的な意見が得られる。
- 自分自身の考え方やキャリアに対するアドバイスや経験則が得られる。
- 皆と同じような苦労や努力している事実を知り、精神的な支えや刺激が得られる。
- 利用者の紹介に繋がる可能性がある。

振り返りとまとめ

振り返りのポイント

- 1 学習課題・目標を明確にし、自己研鑽を積み重ねていくことの重要性
- 2 自己のスキルアップを図り、利用者の自立支援に役立つケアマネジメントを目指すために、ネットワークを活用することの有用性